

| | | | | |
|------|---------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----|
| 科目名称 | ケーススタディ | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
| | | 第3学年 前期 | 1 | 30 |
| 担当教員 | 土居 泰子 | 授業に関わる 実務経験 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無 | |

【1】 授業概要

臨地実習で体験した看護に関連した文献学習を行い、社会資源の活用方法も交えて、担当した事例の看護問題の解決方法を掘り下げて考える。また、問題解決の如何に関わらず、結果に至った理由について理論や概念と関連させ考察する。

看護を実施した事例を論文にまとめること、第三者からの批評から検討を加えること、研究発表をすることを経験し、の方法を理解する。

【2】 学習目標

1. ケーススタディの意義、必要性を記述できる。
2. ケーススタディの方法を活用し、研究論文をまとめることができる。
3. ケーススタディの実際を通して自己の課題を考え、まとめることができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 |
|-------|----------------------------------------|--------|
| 1～2 | ケースレポートと事例研究の違い | 講義・演習 |
| 3 | 文献検索 | 演習 |
| 4 | クリティーク | |
| 5～8 | ケーススタディ(計画・実施) | 演習 |
| 9～11 | グループクリティーク | 演習 |
| 12 | ケーススタディ発表の準備 | 演習 |
| 13～14 | ケーススタディ発表会 | 発表 |
| 15 | まとめ「今後ケーススタディを行うにあたっての自己の課題」についてレポート提出 | 演習 |

【5】 評価方法

- ・評価基準を基に、ケーススタディの内容から総合的に各担当教員が評価する。
- ・単位認定の必須条件は以下の①②③のとおりである。
- ① 野本ひさ先生による特別講義を受講すること。
- ② 各担当教員と指導日の計画を共有し、計画をもとに指導を受けること。
- ③ ケーススタディ発表会の運営に参加し、発表を行うこと。

【6】 教科書

坂下玲子:系統看護学講座 別館 看護研究(第2版) 医学書院 2026(電子版)

【7】 参考書

南 裕子:看護における研究(第2版)日本看護協会出版会

【8】 受講生へのメッセージ

この科目では、指導担当教員に相談しながら、ケーススタディをすすめていきます。自分が行った看護を科学的根拠に基づいたものであるかを振り返り、論理的に文章にまとめ、発表する力を身につけるために、共に学びましょう。